

令和6年7月第9回 松阪市教育委員会定例会会議録

令和6年7月30日（火）教育委員会室

議決事項

議案第13号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

報告事項

報告第29号 令和6年6月議会について

報告第30号 松阪市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

報告第31号 松阪市立保育所及び小規模保育事業所条例の一部改正について

報告第32号 松阪市子ども読書活動推進計画策定委員会要綱の一部改正について

報告第33号 令和6年度6月児童生徒の問題行動等について

出席者

教育長	中 田	雅 喜
委員（教育長職務代理者）	服 部	美由紀
委員	松 江	茂
委員	安 岡	幹 根
委員	松 岡	曜 子

出席事務局職員

事務局長	刀 根	和 宜
事務局次長	金 谷	勝 弘
教育総務担当参事兼教育総務課長	西 浦	有 一
学校教育課長	三 田	篤
学校支援課長	小 泉	恵 希
子ども支援研究センター所長	御 堂	栄 治
生涯学習課長	小 泉	明 弘
こども未来課長	加 藤	知 孝

傍聴者 14人

午後1時30分 開会

○教育長

ただいまから令和6年7月第9回松阪市教育委員会定例会を開会いたします。

傍聴の申し出がございましたので、私のほうで許可をいたしましたこと、ご報告申し上げます。

それでは、事項書に従いまして、進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

まず、議案第13号「令和7年度使用中学校教科用図書採択について」の提案理由を事務局から説明願います。

(学校支援課長から説明)

○教育長

事務局からの説明に対し、質疑、意見はございませんか。

◆委員

私は中学生の親なのですが、松阪地区の中学生の、現在の実情を教えてください。

◎事務局

松阪地区の実情として参考にしたのは、令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果とその分析になります。本調査の生徒質問調査から、「地域や社会の中から自ら課題を立て学習を進めること」また、「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめること」に課題が見られました。教科に関する調査からは、「既習事項を活用したり、根拠を明確にして説明したり、複数の情報から考えたりすること」に課題が見られました。これらのことは、「子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力」に係ることになります。資料3ページの調査実施項目において調査研究を進める中で、2ページの採択基準第5項にあります、「当該採択地区内の中学校教育の実情を十分勘案すること」に則った、松阪地区の子どもたちの実情を踏まえ、調査研究を進めております。

◆委員

子どもたちが興味・関心をもって主体的に学べるように、どのような工夫がなされていたか教えてください。

◎事務局

各教科、子どもたちが興味・関心をもって主体的に学ぶための工夫はなされております。例えば「理科」では、習得した知識・技能を活用し、身の回りの疑問を探究の過程に沿って解決していく活動が設定されており、子どもたちが興味・関心をもって学習を進める工夫がなされています。また、課題解決に向け、話し合い活動の場が設定されており、子どもたちが、他者と協働しながら学びを深めることができるよう工夫されておりました。また、「音楽（器楽合奏）」では、先ほども説明しましたが、リズムアンサンブルが多数掲載されており、楽器を使わずに、手拍子やもも打ち、足踏みなど、体を使って演奏することで、誰もが仲間と一緒に音を合わせる楽しさを味わうことができるよう工夫されています。「美術」では、多数の作品が掲載されています。子どもたちに身近な作品も多く掲載されており、子どもたちの興味をひく内容となっております。

その他の教科につきましても、子どもたちの興味・関心・意欲を高める工夫がなされておりました。

◆委員

ありがとうございました。もう1つ、「道徳」についてお伺いしたいと思います。採択候補になっている教科書では、非常に大切だと思いますが、「いじめ問題」や「自他の生命の尊さ」について、子どもたちの学びが深いものになるよう、工夫をされていたでしょうか。

◎事務局

「道徳」につきましては、平成27年に学習指導要領の一部改訂により「特別の教科道徳」として位置付けられ、平成30年度に初めて道徳の教科書採択が行われており、今回で3回目となります。今回の調査におきましては、全教科の共通項目に加え、道徳科の調査の視点として、今ご質問いただいた「いじめ問題に対する工夫が見られる部分」、「生命尊重に関する部分」等についても調査研究を行いました。

今回採択候補になっている教科書は、生徒が自他の命を尊重したり、いじめについて各学年の早い段階で何度も考えたりできるよう、「命を考える」と「いじめのない世界へ」というユニットが配置されています。いじめについては、被害者、加害者、傍観者の立場など、さまざまな立場の視点からの教材を扱い、自分の考えを書く欄を設け話し合うことで、多面的・多角的に考え、自己を見つめることができるよう工夫されています。

◆委員

「英語」のデジタル教科書につきましては、どのように調査研究が進められたのか教えてください。

◎事務局

デジタル教材の取扱いにつきましては、令和6年3月29日付「令和7年度使用教科書の採択事務処理について」において、調査・検討の対象は紙の教科書であることが基本とされ、二次元コードのリンク先等の内容については、調査の対象ではないことが確認されました。ただし、英語については、デジタル教科書を調査し、考慮の一事項とすることができるとのことでした。そのため、英語については、デジタル教科書の内容についても調査の対象として調査研究を進めました。どのデジタル教科書においても、授業や家庭学習で子どもたちがタブレット端末をもちいて、何度も映像や音声を視聴したり、画面に書き込んだりできるよう工夫されています。今回採択候補となっている「東京書籍」については、調査報告書の2分冊になっている2の方の、59ページに記載をしております。調査報告書にも、59ページの白丸の4つ目、5つ目の項目に、このデジタル教科書に係る部分の記載をしておりますので、ご確認いただければと思います。

◆委員

「技術」についてですが、最近、ICTの活用が進んでおり、プログラミングの教育は非常に大切だと思うのですが、どのような扱いになっていますか。

◎事務局

プログラミングにつきましては、「技術・家庭（技術分野）」で主に取り上げられています。今回の採択候補の教科用図書では、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」や「計測・制御のプログラミング」など、社会で活用されている技術を題材に示されており、生徒が興味・関心をもちやすいよう工夫されています。

ます。また、「計測・制御プログラミングによる問題解決」についても、問題解決例が多く示され、生活に根ざしたプログラミングのあり方を学べるようになっております。その他にも、双方向性のあるコンテンツについて、チャットシステムの仕組みのプログラミングが掲載されるなど、工夫がなされていきました。

◆委員

教科書の内容はわかりやすくなっており、タブレットへのリンクもできていると思いますが、保護者からのアンケートにもあったように、1冊1冊が重いんです。そのため、子どものリュックサックが本当に重くて、今日ここに来る前に重さを測ってみたのですが、10キロを超えていました。こういったアンケートを、どれぐらい活用されたのかなと思うのですが、その辺を教えてくださいませんか。

◎事務局

まず、各教科書とも材質・大きさであったり、分冊であったり、様々な工夫をして軽量化等に努めております。特に今回の採択ではないのですが、国からも、子どもたちの負担軽減のために、例えば、学習で必要のないものは学校に置いて帰って、持ち帰るものを減らす等の配慮事項について通知がなされており、学校ではそちらに則って進めております。

アンケートについては、各調査委員会における調査研究のための参考資料といたしました。調査委員会においては、一般、保護者、教育関係者すべてのアンケートを参考資料として各調査員に配付し、調査研究の参考としました。また、第2回松阪地区教科用図書採択協議会においても、すべてのアンケートを展示し、閲覧できるようにしております。ただし、協議会の資料には掲載できる分量に限りがありましたので、保護者のアンケートのみを掲載させていただいております。

○教育長

他に質疑、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質疑なしと認め、これより討論に入ります。

討論はありませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

討論なしと認め、これより採決に入ります。

議案第13号可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(委員の挙手)

○教育長

挙手全員でございます。

よって議案第13号は、原案どおり可決いたしました。

本件につきましては、開かれた採択の観点から公開といたしました。しかしながら、決定事項、討議の内容等につきましては、文部科学省通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」に基づき、8月31日まで非開示といたします。本日傍聴の皆様、報道機関の皆様におかれましては、傍聴及び取材により知り得た情報について、9月1

